

第4回疾患モデルシンポジウム << がん研究のモデル動物 >>

日時： 2011年11月11日(金曜日) 13:30~18:00

場所： がん研究会 がん研究所(有明病院隣設)
吉田富三記念講堂

東京都江東区有明3-8-31

(交通：りんかい線 or ゆりかもめ)

参加費： 無料

主催： 日本実験動物学会 疾患モデル委員会

企画・運営担当：

中釜 斉 (国立がんセンター)、
中村卓郎 (がん研究会がん研所・発がん研究部)
菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所・毒性部)
連絡先： 国立衛研・毒性部 03-3700-9619

テーマ：がん研究のモデル動物

プログラム：

● 基礎編

1. 発がん動物モデルのin vitroでの再構築
中釜 斉(国立がん研究センター 研究所)
2. 融合遺伝子の導入による肉腫モデルの確立
中村 卓郎(がん研究会 がん研究所)
3. 内在性レトロウイルスの発がんにおける役割
石坂幸人(国立国際医療研究センター 研究所)
4. 細胞初期化技術を用いたがんのエピジェネティクス研究
山田泰広(京都大学 iPS細胞研究所)

● 応用編

5. Plasmin inhibition reduces lymphoid tumor growth in mice by suppressing matrix metalloproteinase-9 dependent myeloid cell recruitment
Beate Heissig(東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究セ)
6. がん微小環境因子を利用した生体光イメージングモデルマウスの構築
近藤科江(東京工業大学大学院生命理工学研究科)

